

■温室効果ガス削減の目標

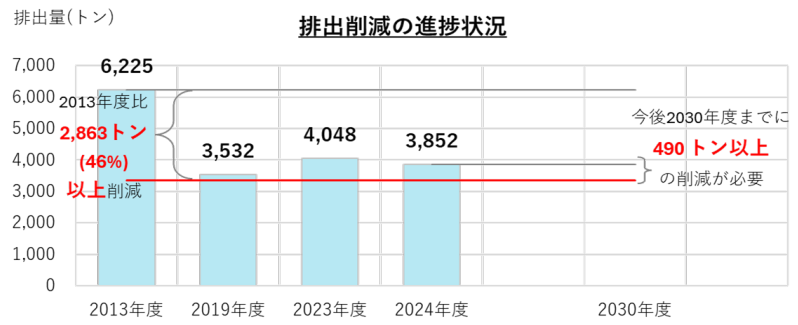
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (2,863トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

■温室効果ガス排出量の推移

長崎空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比197トン減少の3,852トンである。
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後490トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	5,793	3,107	3,775	3,499
空港車両	432	425	273	353
計	6,225	3,532	4,048	3,852

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数… 2019年度：0.347、2023年度：0.475、2024年度：0.417
空港全体の商用電力使用量(kWh) …2019年度：835.8万、2023年度：758.5万、2024年度：794.8万

■2020年度～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

長崎空港では、2020～2024年度にかけて、施設整備は行われなかった。商用電力使用量が増加傾向であるのに対して、主に契約されている電力会社の排出係数は低下傾向 (2023年度比) にあり、温室効果ガス排出量は減少している。この間、空港の利用 (航空機運航回数や旅客数) はコロナ前水準をわずかに下回っている。

■2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	<ul style="list-style-type: none">▶ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用、空調の高効率熱源の導入、や空調・換気の省エネルギー運用等の取組が行われた。▶ 航空灯火のLED化の取組が行われた。
空港車両に係る取組	<ul style="list-style-type: none">▶ 電動車の導入が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	<ul style="list-style-type: none">▶ トーイングトラクターで高純度バイオディーゼル燃料「B100燃料」の実証実験が行われた。▶ GPUの利用促進が行われた。